



柳亭種彦録
一蘭齋國經画

ちん
八大傳
大乃
きり

四十三編上

四十三編下

3414
78

13
3414
77



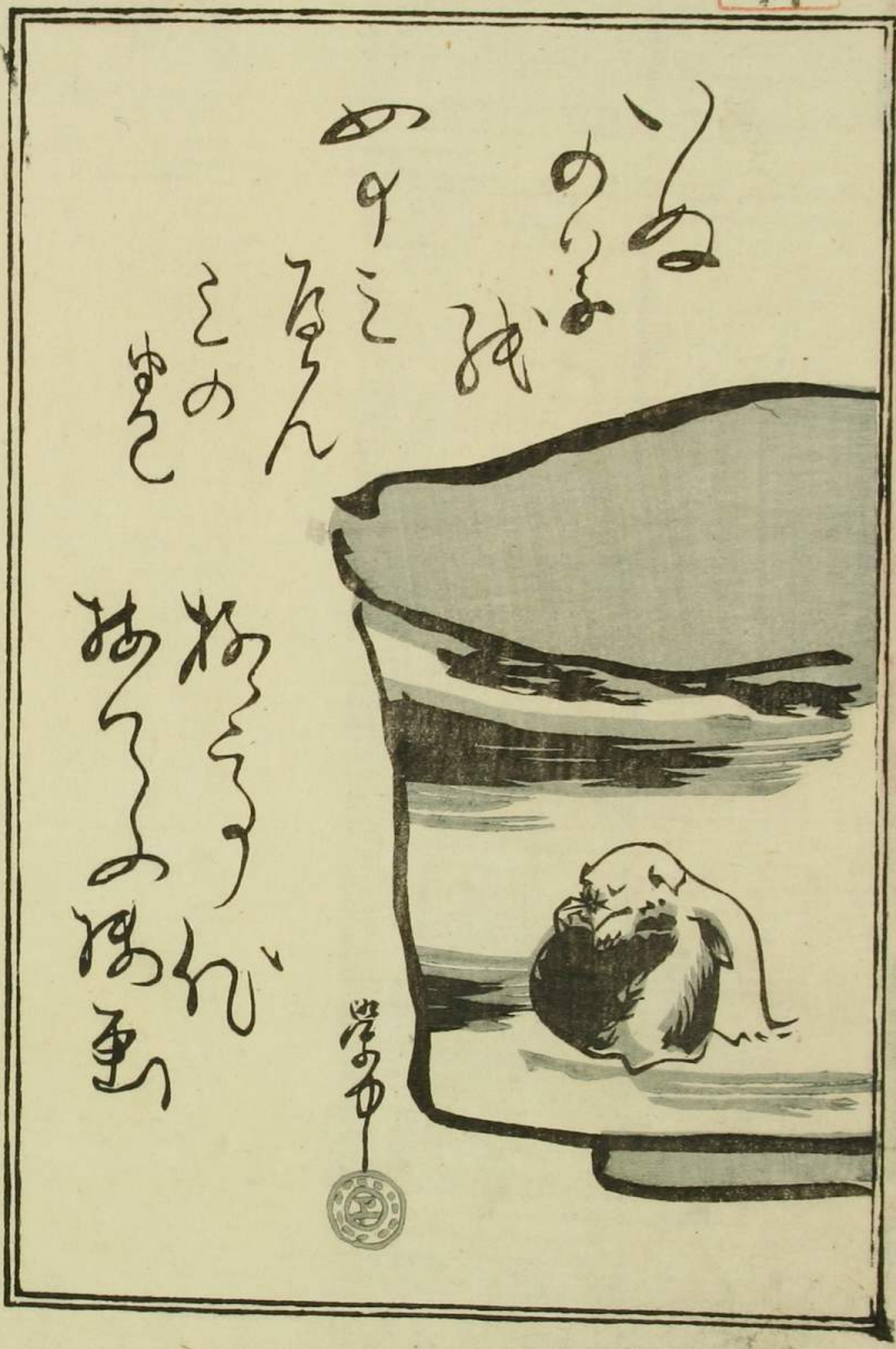


きりぎりす
八乃大傳

四十三編上

13
3414
77


3414
13
17



多き物伊勢屋稲荷小物の何やらと八府下俗間の常話を伊勢人の
 辛抱つゝ儉約を守りて且愚たうねバ大江戸小出稼ぐ者十人が十人
 家と起す故不暖簾八日増殖稻生ハ五穀と生むる神靈新道の
 露地おも鎮祀ぬのみき敬神の風俗餘国に勝と河當地の繁昌
 萬代不易満て溢る餘の恩澤つゞく天も腹が福連て彼何やうも
 多いと多すも羊来此餘沢蒙りながも伊勢ならぬ尾張産ハ懶惰か
 持前野狐あらねと屢尾で見せ犬の草紙ハ綴ても畢竟他の禪
 みて勝ても負ても苦みあけれど流行ハ名作大江戸の花草冊子みて
 編數の多いのハといふたのうがことハ下らぬ四十三編今茲も異らず
 鈔録の序殺伐と緒言と物まゐり

文久二年孟限發元

柳亭種彦



八の四十三

一三三

一



芝屋八郎景能
芝屋八郎景能

幕田権頭素藤
幕田権頭素藤

吹響
吹響

かた
かた

名
名

の
の

母
母

童
童

吹
吹

響
響

聖見御子義通
聖見御子義通



大江親兵衛
大江親兵衛

仁
仁

第六回 青命夜を牽せし黒能稲村を来り
黒能夜を犯し七段請信翁山を来り





義経の
 妻 珠姫
 義経の
 妻 珠姫
 義経の
 妻 珠姫

義経の妻 珠姫
 義経の妻 珠姫

義経の妻 珠姫
 義経の妻 珠姫

義経の妻 珠姫
 義経の妻 珠姫

義経の妻 珠姫
 義経の妻 珠姫



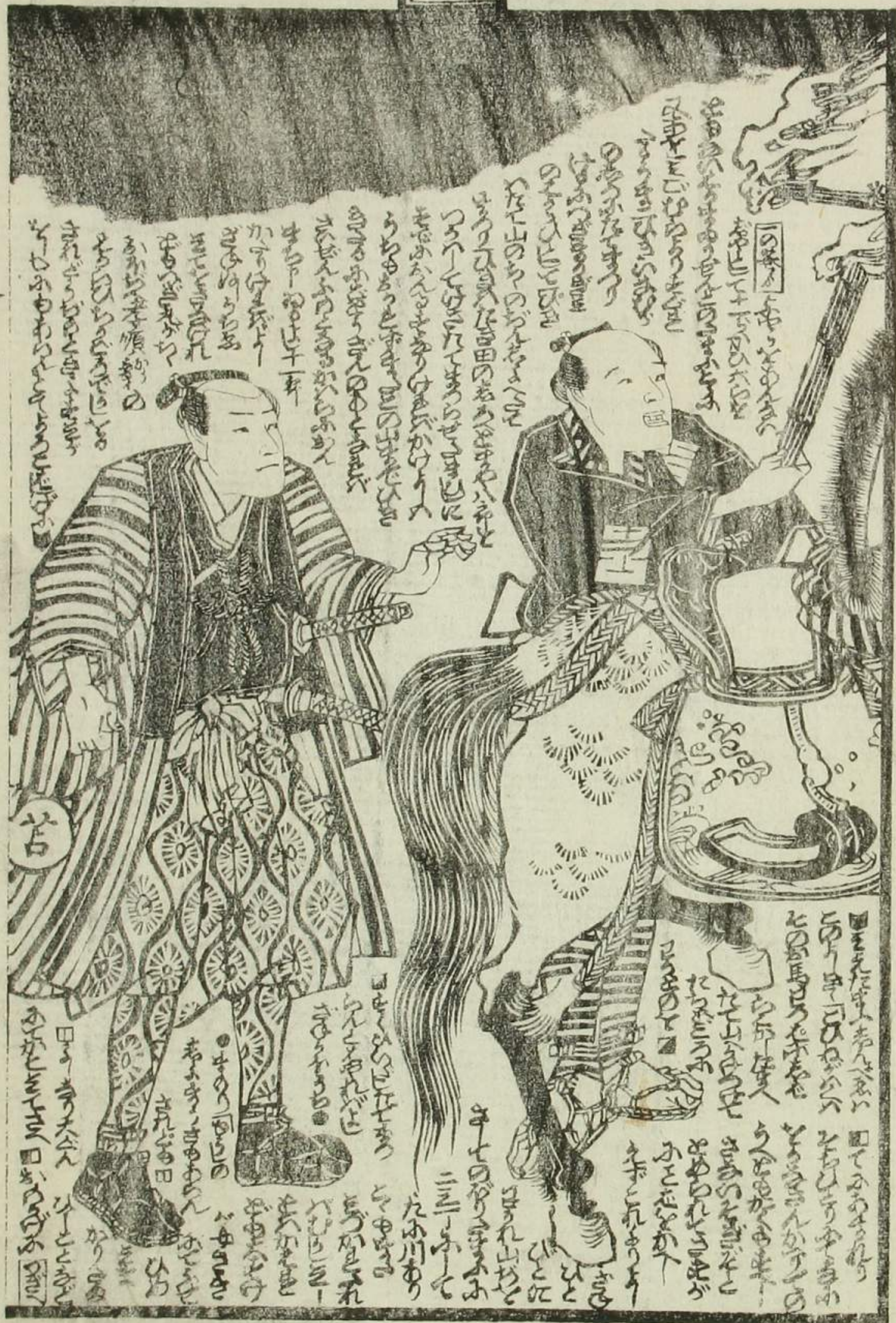
伏姫の
 墳墓

伏姫の
 墳墓

伏姫の
 墳墓

伏姫の
 墳墓

伏姫の
 墳墓







馬に上りて小町を歩きたりて
月夜に歩きたりて
夜行小町と
感たぬ奇

大の
十



東

西



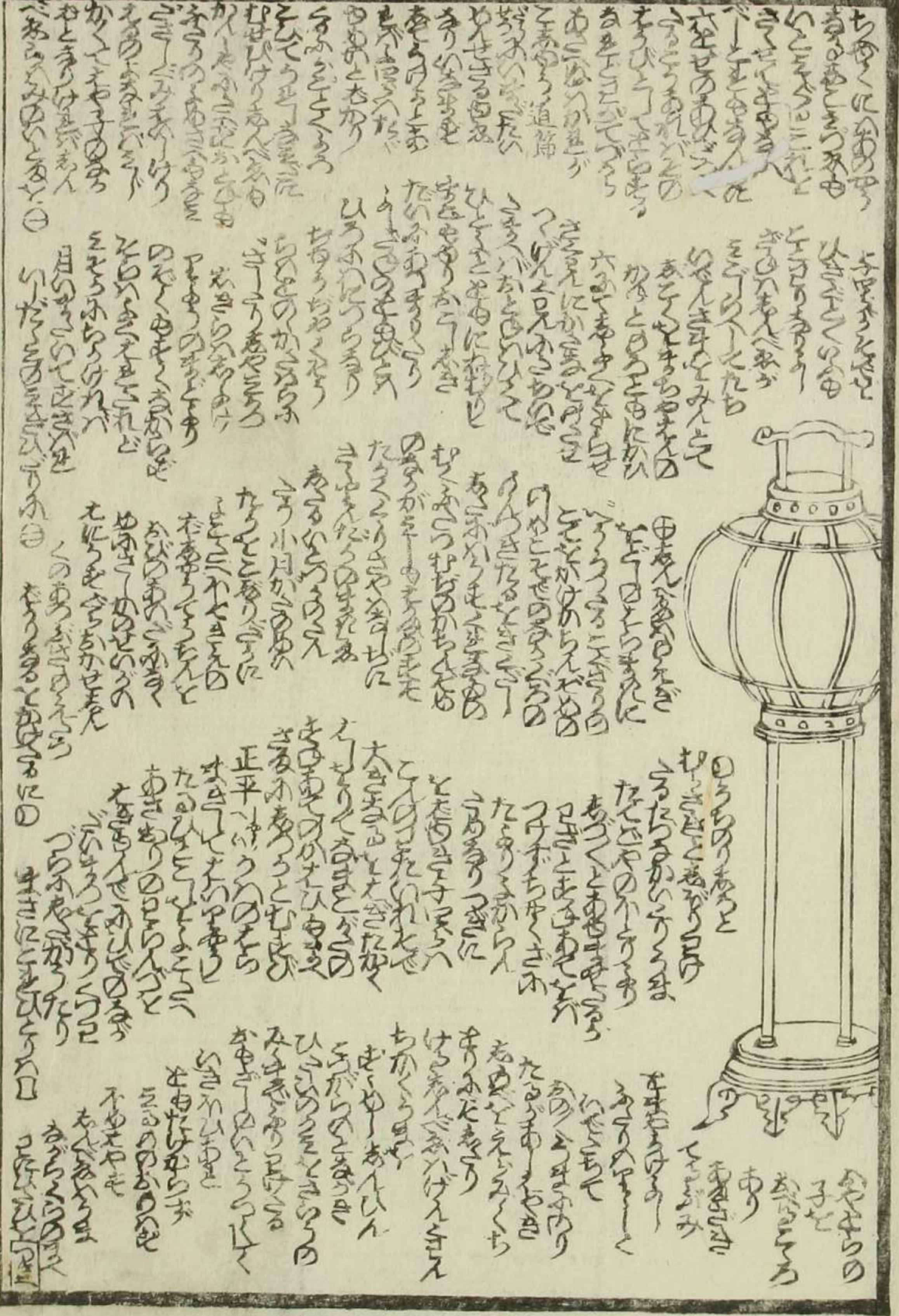
つぎたてま
かぬかのこ
まのくのみ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて



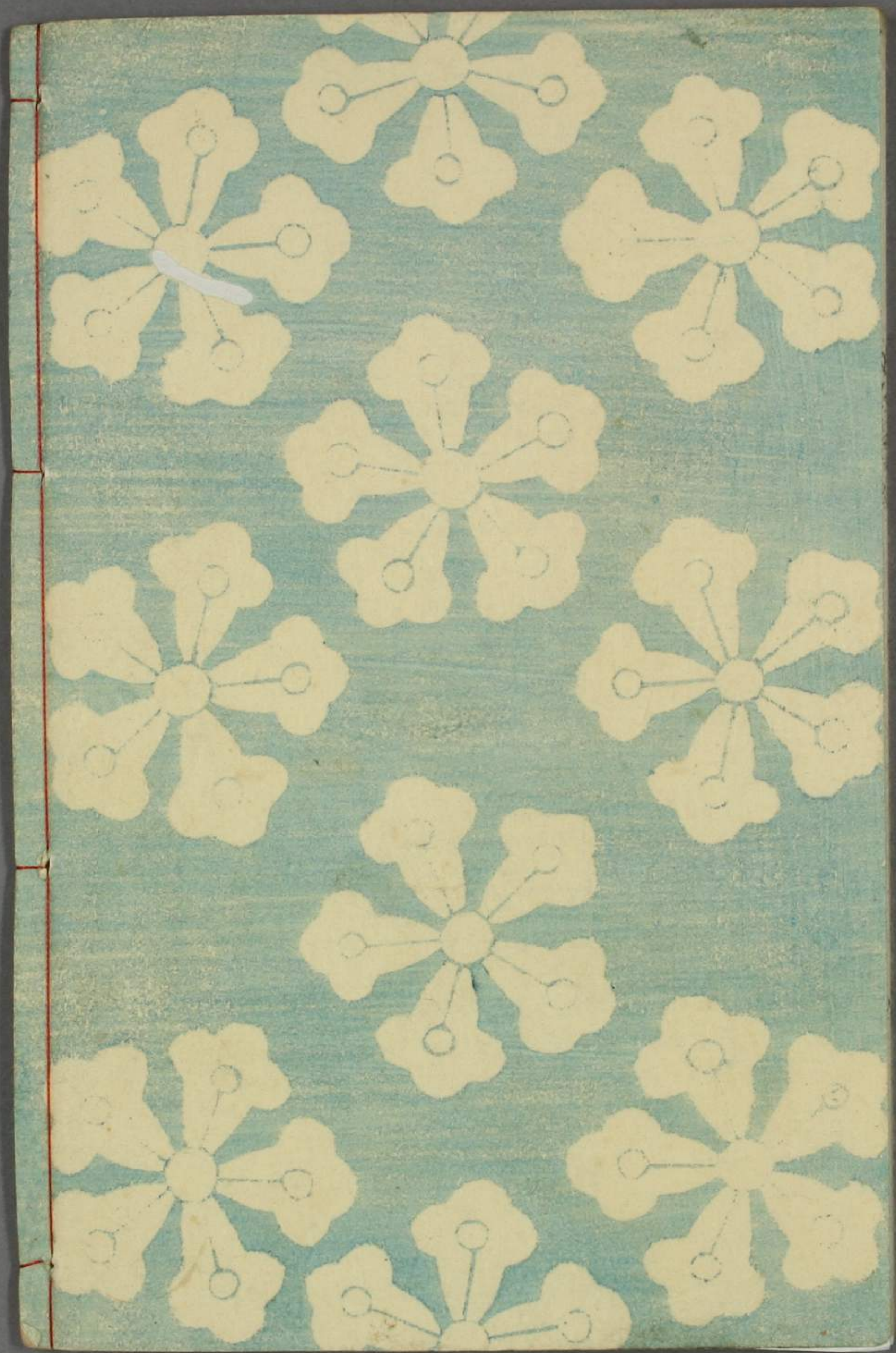
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて

あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて
あまのこ
つぎたて





柳亭種彦録
一蘭齋國綱画

甲三編下

3414
78

3414
78



二のつき

第百七回

大江の兵衛活あが

素藤提へ

里見御曹子

優小陣管小还



三





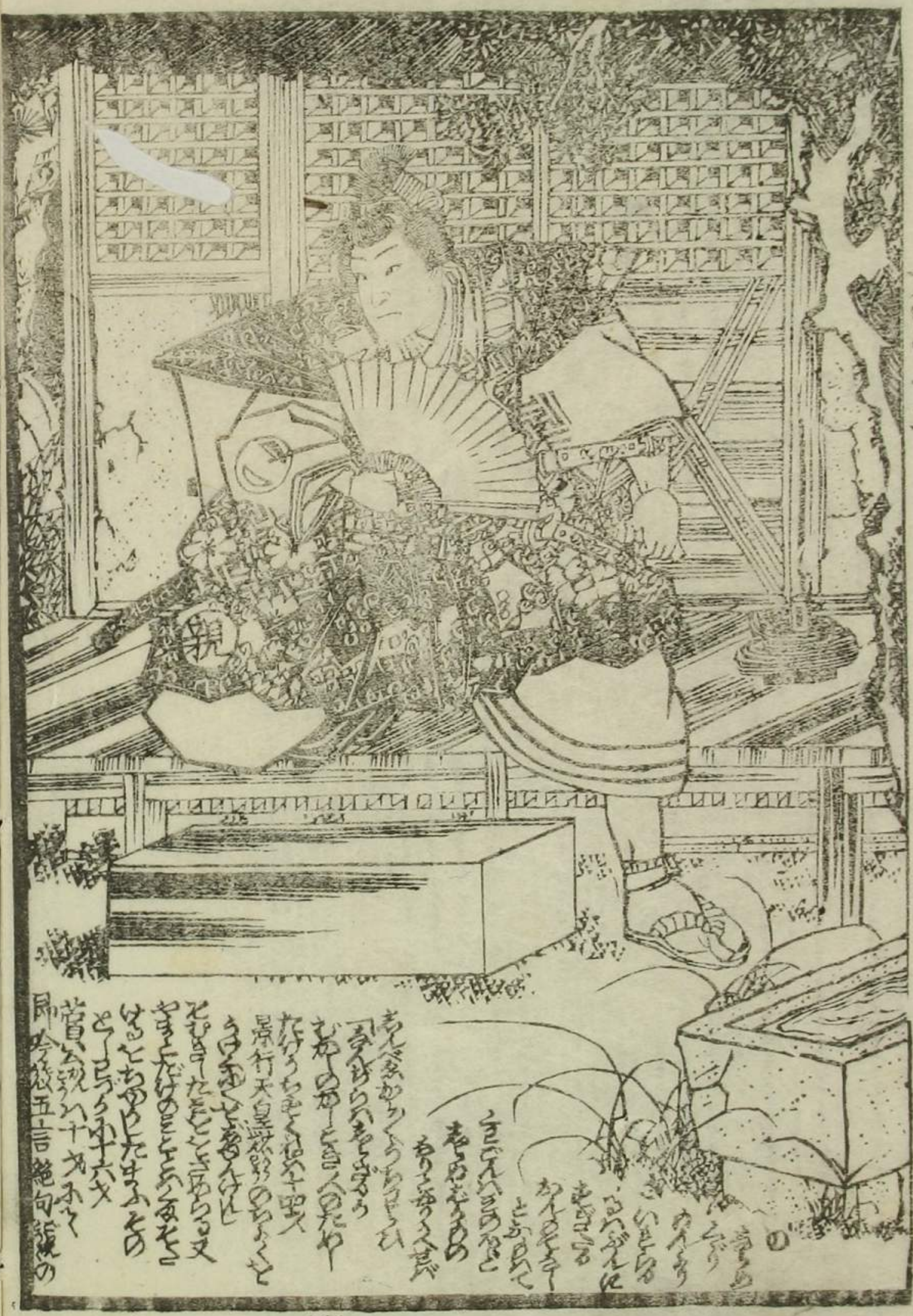


此の馬は
 いそいで
 走るなり
 此の馬は
 いそいで
 走るなり
 此の馬は
 いそいで
 走るなり

〇馬の
 名は

〇馬の
 名は

孝順の
 徳は



孝順の
 徳は

孝順の
 徳は



〇此の女は...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

〇此の馬は...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



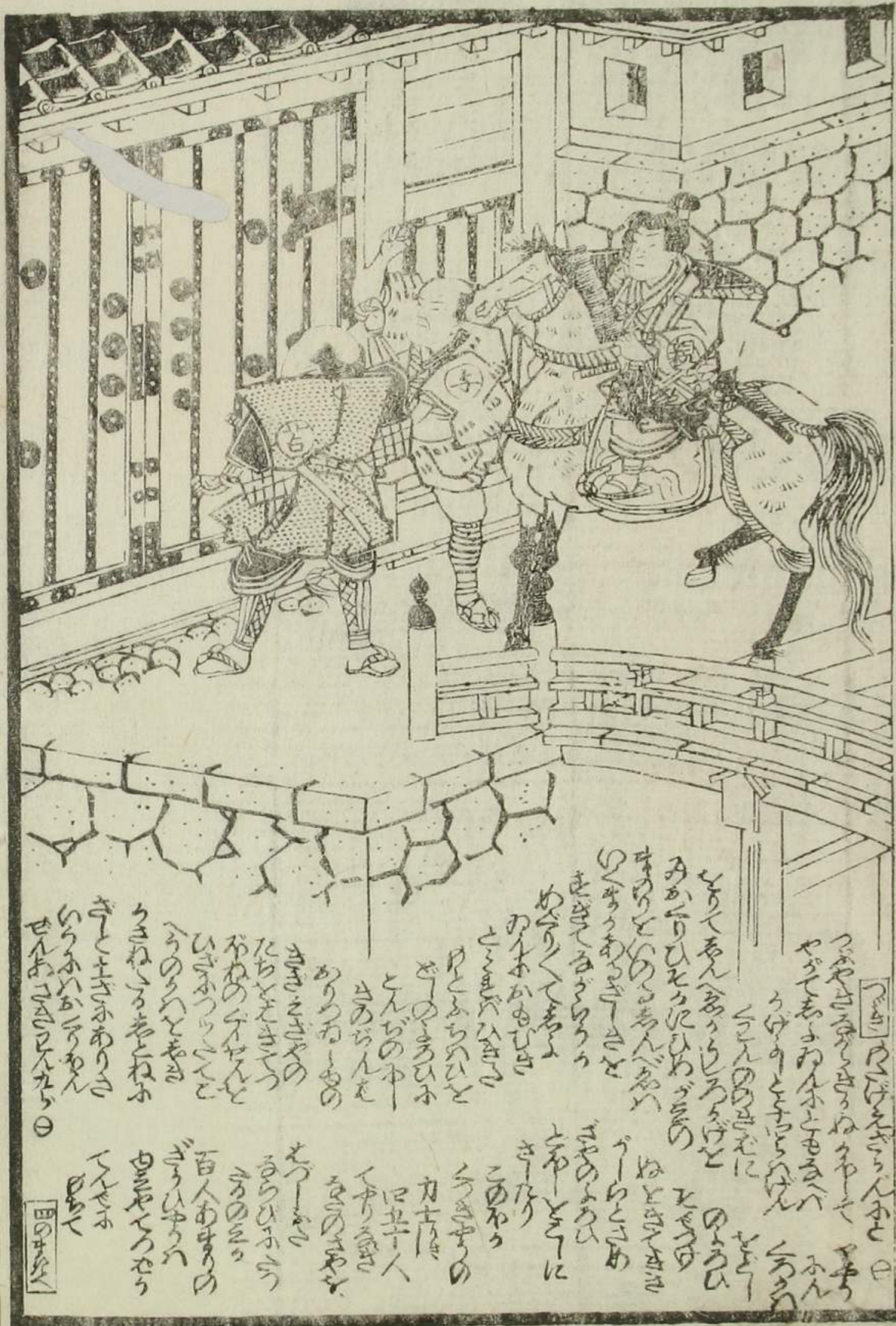
〇此の馬は...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

〇此の女は...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...



大の四十三

二六



大の四十三

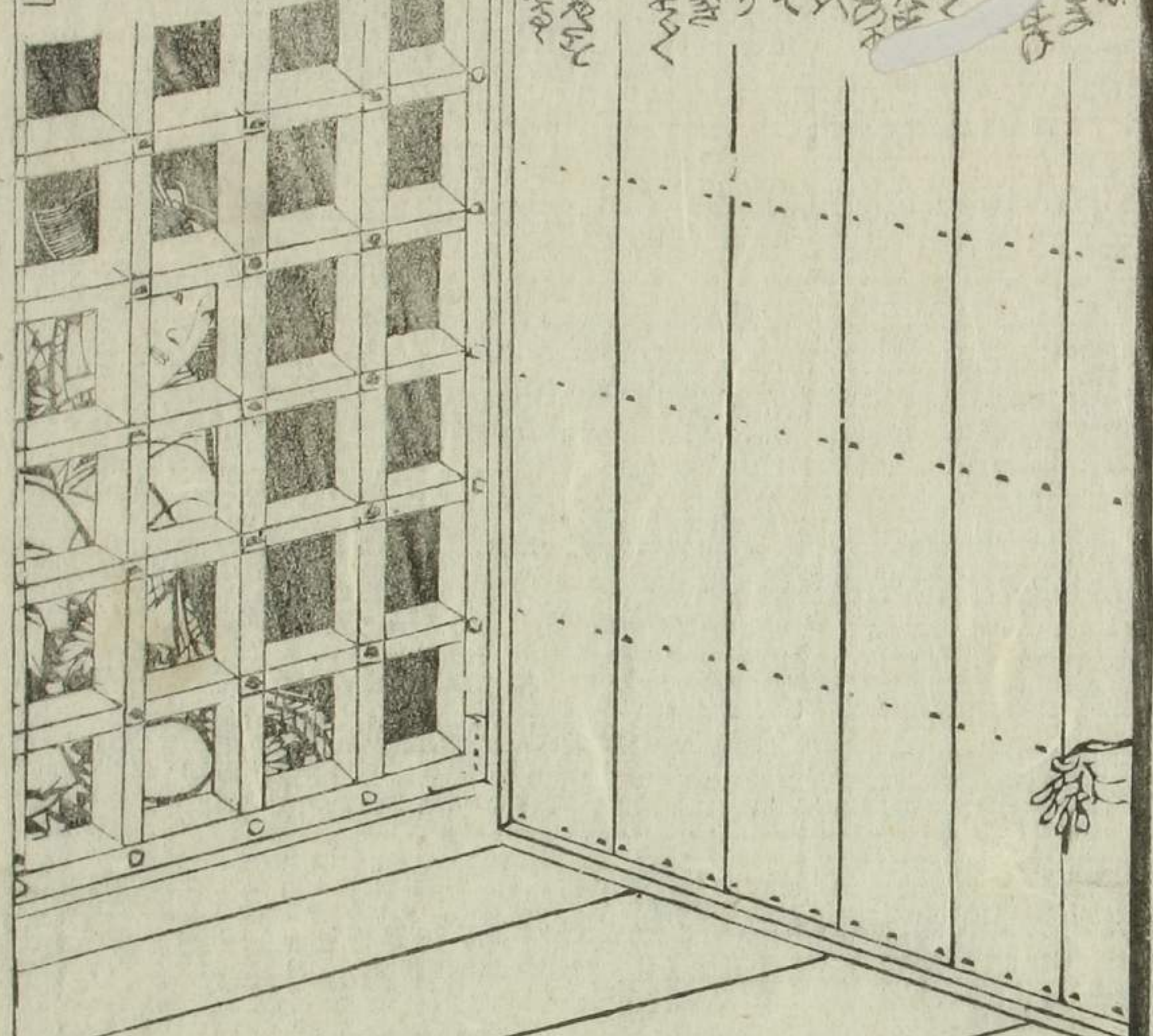
二六

わさささささ
あははははは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは



あははははは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは

あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは



あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは
かきかきかき
わさわさわさ
あはあはあは

文久二年戊戌陽春開板標目

柳亭種彦録
歌川國綱畫

○上巻の附録のさしあはれ
そのとりのしるしを
けれとありてさしあはれ
おろつきかれ六日に百里の
みちのちのちのちのちのち
鼠璞はと
たまた
三が
ひな
みのはにて
日とぬとも
珠はとりのち
あか
かえさる
たとな



御曹子義通
一色
二十罌
一袋
甲父

法大師
筆海四國聞書
初編五編
梅蝶樓國貞画

推心堂
假名情談戀畦倉
初編五編
梅蝶樓國貞画

傾時次郎
明鴉墨画迺襦褌
初編五編
梅蝶樓國貞画

童謡妙々車
種彦作
板國貞画

薄倂幻日記
春水作
編國貞画

地本草紙問屋

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

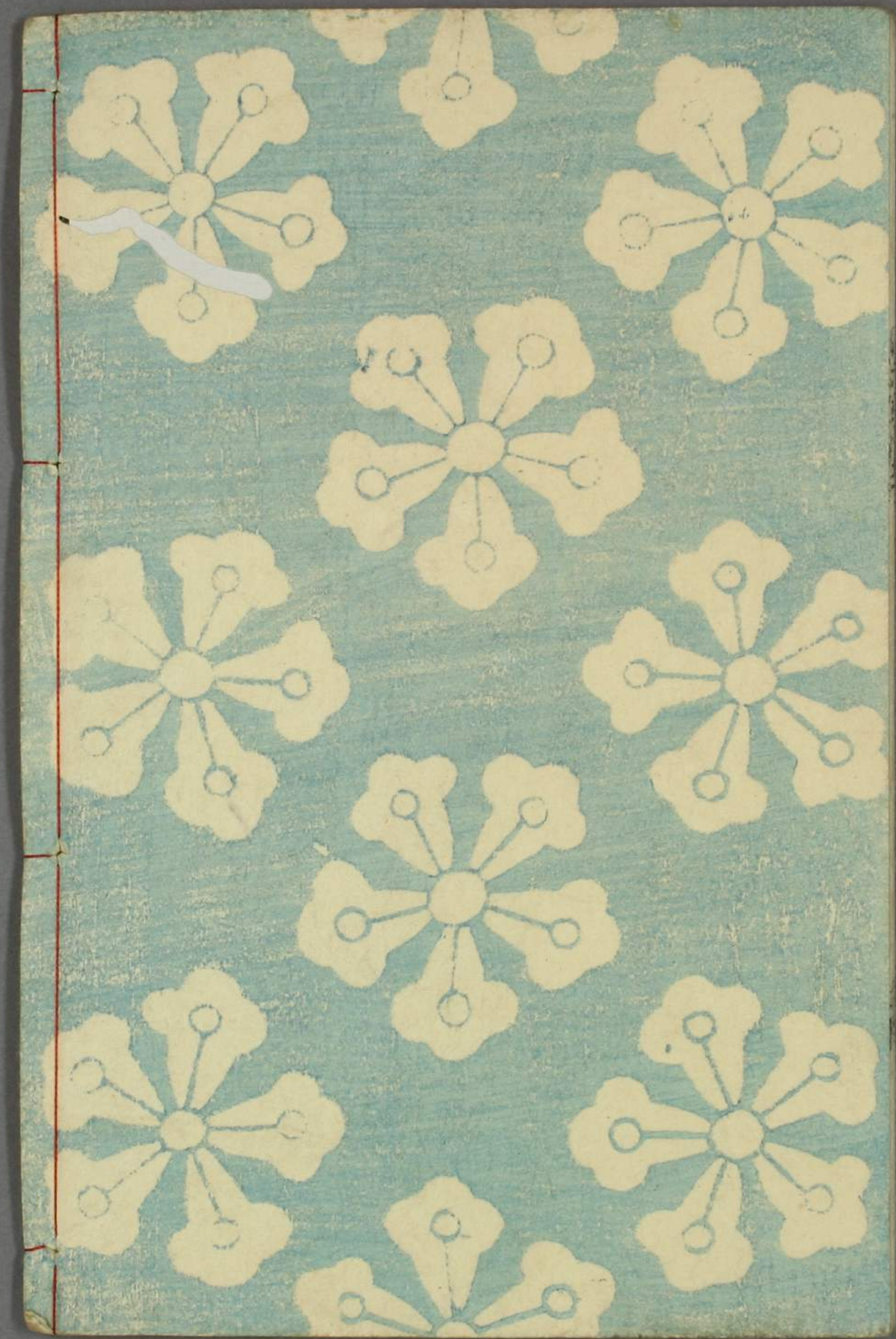
瀬川如皋作
梅蝶樓國貞画

三亭春馬合作
梅蝶樓國貞画

花封卷玉章
六編種彦作
七編國貞画

尖傳犬の舛紙
早編柳亭録
早四編
早五編
四十五編
國貞画

商傳馬
葛屋吉藏板





大徳寺
御書

四年

五月

梅
松
竹
画

